第2章

通信の設定をする

設定の準備と作業の流れ

カメラで通信やインターネット機能を使う場合には、通信に関するいくつかの設定をしておく必要があります。

おおまかな設定作業の流れ

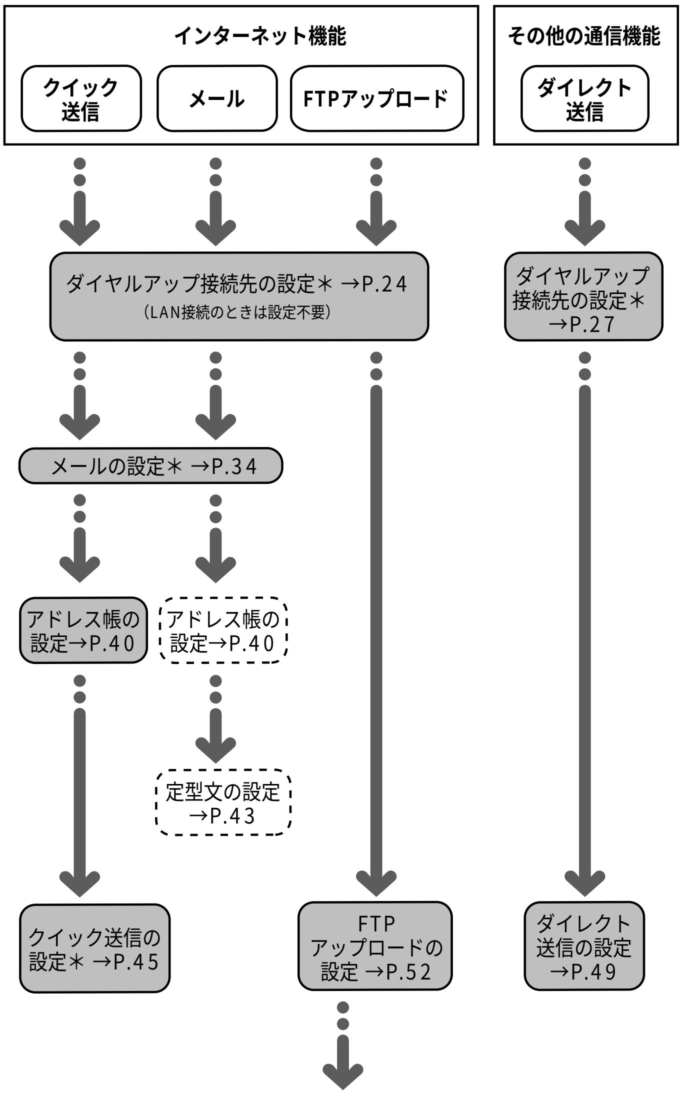
カメラで利用できる機能は次の４種類です。
機能によって、設定作業の流れは異なります。次ページの流れ図を参考にして、使いたい機能の設定を順番に行ってください。

- **クイック送信**　：電子メールを利用して、手軽な操作で画像を送信する機能です。
- **メール**　：メールを送信したり、受信したりする機能です。メールに画像を添付して送ることもできます。
- **FTP アップロード**：画像を埋め込んだ HTML ファイルとオリジナルの画像をホームページのあるサーバー（コンピューター）にアップロード（送信）する機能です。
- **ダイレクト送信**：コンピューターに直接ファイルを転送（送信）する機能です。

重要
・はじめて通信やインターネット機能を利用するときは、必ず、通信の設定を行ってください。ただし、設定内容に変更がない限り、通信のたびに設定する必要はありません。

補足
・カメラを LAN（企業内ネットワークや家庭内ネットワーク）に接続してインターネット機能を利用する場合は、ダイヤルアップ接続先の設定をする必要はありません。
・カメラを LAN に接続する方法については、パソコンとの連携編「カメラをネットワークに接続する」をご覧ください。

（灰色の枠）は必ず設定してください。
（点線の枠）は必要に応じて設定してください。　＊：カメラを使ってできる設定。



設定が終了したら、第3章（→P.55）に進んでください。

補足　・＊印の設定はカメラを使って行うことができますが、パソコンを使うとより便利です。

2
通信の設定をする

プロバイダーとの契約は済みましたか？

インターネット機能（クイック送信、メール、FTP アップロード）を使うには、プロバイダーとの契約が必要です。まだ契約をしていない方は、契約をしてから通信の設定を行ってください。

補足
・次のような場合、プロバイダーとの契約は必要ありません。
- 企業内ですでにインターネットの環境が用意されている。
- オフィスのコンピューターにダイレクトに画像を送信する機能だけを使う。

設定のための情報を準備する

設定には、プロバイダーやシステム管理者から提供される次のような情報が必要です。ここではtestnetという架空のプロバイダーの例で説明しています。プロバイダーによっては、使用している用語が異なったり、提供されない情報もあります。詳しいことは、後の項で説明します。→ P.24 ～

●ダイヤルアップ接続の情報

インターネットに接続するために必要な情報です。

・電話番号	：アクセスポイントのリスト
・PPP アカウント	：（例：testname）
・PPP パスワード	：（例：1234ABCD）
・第 1 ネームサーバ	：（例：xxx.xxx.xxx.xxx）xxx は 0 ～ 255 の数字
・第 2 ネームサーバ	：（例：xxx.xxx.xxx.xxx）xxx は 0 ～ 255 の数字

●メールの情報

メールを使うために必要な情報です。

・SMTP サーバ名	：（例：smtp.testnet.ne.jp または xxx.xxx.xxx.xxx）
・POP サーバ名	：（例：pop.testnet.ne.jp または xxx.xxx.xxx.xxx）
・POP アカウント	：（例：testname）
・POP パスワード	：（例：1234ABCD）
・メールアドレス	：（例：testname@testnet.ne.jp）

●ダイレクト送信や FTP アップロードの情報

画像などのファイルを送信するために必要な情報です。

・転送先サーバ	：（例：ftp.testnet.ne.jp または xxx.xxx.xxx.xxx）
・転送先フォルダ	：（例：/xxxx/xxxx）

コラム

通信設定の用語について

設定に使われる用語は、プロバイダーによって異なります。これらの用語については、次の例を参考にしてください。

本製品の項目名	プロバイダーが使用している例
電話番号	：アクセスポイント
PPP アカウント	：ユーザー名、ユーザー ID、アカウント ID、接続ID、接続アカウント、ログインID、ログイン名、 PPP ログイン名
PPP パスワード	：パスワード、接続パスワード、ログインパスワード
第 1 ネームサーバ	：プライマリーネームサーバー、プライマリー DNS、DNS サーバー
第 2 ネームサーバ	：セカンダリーネームサーバー、セカンダリー DNS
SMTP サーバ名	：送信メールサーバー、メールサーバー
POP サーバ名	：受信メールサーバー、メールサーバー
POP アカウント	：メールアカウント
POP パスワード	：メールパスワード
メールアドレス	：電子メールアドレス、E-Mail アドレス
転送先サーバ	：FTP サーバー

通信設定の項目

この章では、プロバイダーやシステム管理者から提供される情報をもとに、次のような項目を設定していきます。設定はパソコンを使うと便利です。項目によっては、カメラでも設定できます（○印：設定可、×印：設定不可）。

補足 ・カメラで入力できる文字は英字または数字のみですが、パソコンを使うと項目によっては全角文字も入力できます。

参照 ・P.110「文字入力 / 削除のしかた」

●ダイヤルアップ接続先の設定（→ P.24）

設定項目名	カメラ側	パソコン側
ダイヤルアップ先名称	○	○
電話番号	○	○
ダイヤル方式	○	○
外線発信番号	○	○
PPP アカウント	○	○
PPP パスワード	○	○
第 1 ネームサーバ	○	○
第 2 ネームサーバ	○	○
IP アドレス	○	○

●メール環境の設定（→ P.34）

設定項目名	カメラ側	パソコン側
SMTP サーバ名	○	○
POP サーバ名	○	○
POP アカウント	○	○
POP パスワード	○	○
メールアドレス	○	○
発信者名	○	○
署名	○	○
受信メール自動削除	○	○
メール最大サイズ	○	○
送信メール保存	○	○
メールボックスサイズ	○	○
ダイヤルアップ先	○	○

●アドレス帳の設定（→ P.40）

設定項目名	カメラ側	パソコン側
氏名	×	○
ふりがな	×	○
アドレス	×	○
電話番号	×	○
備考	×	○

●定型文の設定（→ P.43）

設定項目名	カメラ側	パソコン側
定型文	×	○

●クイック送信の設定（→ P.45）

設定項目名	カメラ側	パソコン側
宛先	○	○
ダイヤルアップ先	○	○
画像サイズ変更	○	○

●ダイレクト送信の設定（→ P.49）

設定項目名	カメラ側	パソコン側
ダイヤルアップ先	○	○
転送先サーバ	×	○
転送先フォルダ	×	○

● FTP アップロードの設定（→ P.52）

設定項目名	カメラ側	パソコン側
FTP サーバーアドレス	×	○
転送先フォルダ	×	○
ユーザーアカウント名	×	○
パスワード	×	○
ダイヤルアップ先	○	○
ホームページ URL	○	○

ダイヤルアップ接続先を設定する

インターネットに接続するときの、接続先の電話番号やサーバー名などを設定します。

補足
・オフィスのコンピューター（サーバー）にダイレクトに接続してダイレクト送信を行うときも、同じように接続先の電話番号やサーバー名などを設定します。→ P.27
・パソコンを使って、ダイヤルアップ接続先を登録したり、変更したりすることもできます。→パソコンとの連携編「ダイヤルアップ接続先を設定する」

新しいダイヤルアップ接続先を追加する

新しいダイヤルアップ接続先を追加します。

重要
・設定に使われる用語は、プロバイダーによって異なります。プロバイダー別の設定用語については、カメラに同梱の別紙「プロバイダー別設定項目一覧」をご覧ください。別紙に掲載されていないプロバイダーをご使用の場合や別紙とは設定用語が異なる場合は、下記のコラム「ダイヤルアップ接続先の設定で使われる用語について」をご覧ください。

コラム

ダイヤルアップ接続先の設定で使われる用語について

次の例を参考にして、プロバイダーから提供される情報を適切な項目に設定してください。

本製品の項目名	プロバイダーが使用している例
電話番号	：アクセスポイント
PPP アカウント	：ユーザー名、ユーザー ID、アカウント ID、接続ID、接続アカウント、ログインID、ログイン名、 PPP ログイン名
PPP パスワード	：パスワード、接続パスワード、ログインパスワード
第 1 ネームサーバ	：プライマリーネームサーバー、プライマリー DNS、DNS サーバー
第 2 ネームサーバ	：セカンダリーネームサーバー、セカンダリー DNS

■ダイヤルアップ接続先の設定内容

（クイック送信、メール、FTP アップロードの場合）

ここでは、次の 9 項目を設定します。
設定の手順については後の項で説明します。→ P.30

●ダイヤルアップ先名称

接続先の名前です。わかりやすい名前を自由に入力できます。一般的にはプロバイダーの名前やアクセスポイントの場所を入力します（例：testnetTokyo）。

●電話番号（必須項目）

接続先の電話番号です。提供されたアクセスポイントの中から最寄りの電話番号を入力します。「-」を入れても入れなくてもどちらでも入力が可能です。
（例：xx-xxxx-xxxx または xxxxxxxxxx）

補足
・出張などで移動が多い場合は、出張先ごとにダイヤルアップ接続先を用意すると便利に使えます。
・PHS内蔵のデータ通信カードを使って接続する場合、ご使用の通信カードとプロバイダーの組み合わせによってはPTE（プロトコル変換装置）を利用する必要があります。利用するときの電話番号の指定方法やPTEについては、通信カードに付属の説明書をご覧ください。

●ダイヤル方式

使用している電話回線の種類を選びます。「トーン」または「パルス」のいずれかを選びます。工場出荷時には「トーン」に設定されています。PHS 機能などを内蔵したデータ通信カードをご使用の場合は、「トーン」のままにしておきます。
→ P.58「通信カードについて」

- **トーン**　：ダイヤルしたときに「ピッポッパッ」と音がする方式です。
- **パルス**　：ダイヤルしたときに「ジージー」と音がする方式です。

補足
・電話回線の種類が異なると、接続はできません。回線の種類がわからない場合は、ご加入の電話会社にお問い合わせください。

●外線発信番号

企業内等の内線から発信する場合に、「0」「1」「2」...「9」などの外線発信番号を設定します。ここで設定した外線番号が、接続先の電話番号の前に加えられてダイヤルされます。設定が不要の場合は空欄のままにしておきます。

● PPP アカウント

インターネットに接続するときのアカウント名（契約者名）です。ユーザー名、ユーザー ID などとよぶこともあります（例：testname）。

● **PPP パスワード**

インターネットに接続するときのパスワードです（例：1234ABCD）。

重要
・アカウントやパスワードは、次のことに注意をして入力してください。
- 大文字小文字の違い。
- 数字の0「ゼロ」と英字のO「オー」の違い。
- 数字の1「イチ」と英字のI「アイ」、英字のl「エル」の違い。
・パスワードはとても大切なものです。他の人の目にふれないようにしっかり管理してください。

●**第1ネームサーバ**

●**第2ネームサーバ**

プロバイダーやシステム管理者が管理しているネームサーバーのIPアドレス（宛先のようなもの）を入力します（例：xxx.xxx.xxx.xxx）。

重要
・ネームサーバーを指定しないと、インターネット機能が正常に動作しません。必ず設定してください。

補足
・第1ネームサーバーは通常使用するサーバーです。このサーバーが機能しなかったときに緊急用として使われるのが第2ネームサーバーです。

● **IP アドレス**

カメラ自身のIPアドレスです。工場出荷時には空欄になっています。
IPアドレスはサーバーによって自動的に割り当てられるため、通常は設定する必要はありません。プロバイダーやシステム管理者からIPアドレスを提供された場合にだけ設定します。

コラム

PPP について

通常、インターネットに接続するときは、公衆回線からダイヤルアップ接続を行います。このとき使われるプロトコル（通信の手順や約束ごと）がPPP（Point-to-Point Protocol）です。そのため、接続用のアカウントのことをPPPアカウントとよぶことがあります。

IP アドレスとドメイン名について

インターネットにはたくさんのコンピューターが接続されています。その中から1台1台のコンピューターを識別するために使われるのがIPアドレスで、「xxx.xxx.xxx.xxx（xxxは0～255の数字）」という形式で表現されます。IPアドレスを、人間が理解しやすい文字列に置き換えたものをドメイン名といいます（例：testnet.ne.jp）。

コラム **ネームサーバーについて**

DNS (Domain Name System) サーバーともいい、アルファベット表記のドメイン名を、数値表記のIPアドレスに相互変換するサーバーです。カメラで指定したドメイン名をIPアドレスに変換して、インターネット上の目的のサーバーを探す役割をします。

■ダイヤルアップ接続先の設定内容（ダイレクト送信の場合）

ここでは、次の9項目を設定します。
設定の手順については次の項で説明します。→ P.30

補足 ・設定については、パソコンとの連携編　第7章「ダイレクト送信の受信側を設定する」もあわせてご覧ください。

●ダイヤルアップ先名称

接続先の名前です。わかりやすい名前を自由に入力できます。一般的には接続先のコンピューター名などを入力します（例：testserver）。

●電話番号（必須項目）

接続先の電話番号です。受信側のコンピューター（実際にはモデム）が接続されている電話番号を入力します。「-」を入れても入れなくてもどちらでも入力が可能です。（例：xx-xxxx-xxxx または xxxxxxxxxx）

●ダイヤル方式

使用している電話回線の種類を選びます。「トーン」または「パルス」のいずれかを選びます。工場出荷時には「トーン」に設定されています。PHS機能などを内蔵したデータ通信カードをご使用の場合は、「トーン」のままにしておきます。
→ P.58「通信カードについて」

- **トーン**　：ダイヤルしたときに「ピッポッパッ」と音がする方式です。
- **パルス**　：ダイヤルしたときに「ジージー」と音がする方式です。

補足 ・電話回線の種類が異なると、接続はできません。回線の種類がわからない場合は、ご加入の電話会社にお問い合わせください。

●外線発信番号

企業内等の内線から発信する場合に、「0」「1」「2」...「9」などの外線発信番号を設定します。ここで設定した外線番号が、接続先の電話番号の前に加えられてダイヤルされます。設定が不要の場合は空欄のままにしておきます。

● PPP アカウント

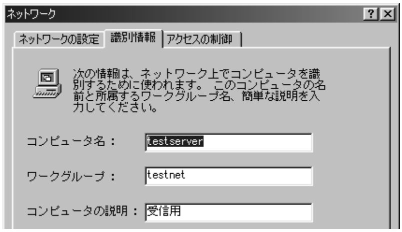
接続先のコンピューター名（受信側のコンピューター名）を入力します（例：testserver）。

重要

・アカウントは、次のことに注意をして入力してください。
- 大文字小文字の違い。
- 数字の 0「ゼロ」と英字の O「オー」の違い。
- 数字の 1「イチ」と英字の I「アイ」、英字の l「エル」の違い。

＜受信側が Windows の場合＞

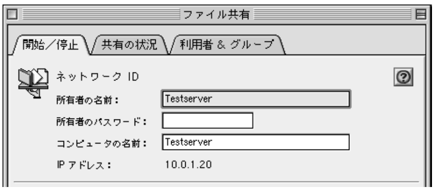
［スタート］メニューから、［設定］-［コントロールパネル］-［ネットワーク］-［識別情報］タブを選択します。［コンピューター名］で設定した名前を PPP アカウントに入力します。



補足 ・ここでは Windows98 の画面を使って説明しています。Windows のバージョンによっては、多少画面が異なる場合があります。

＜受信側が Macintosh の場合＞

アップルメニューから、［コントロールパネル］-［ファイル共有］-［開始/停止］タブを選択します。［所有者の名前］で設定した名前を PPP アカウントに入力します。



補足 ・ここでは MacOS9 の画面を使って説明しています。OS のバージョンによっては、多少画面が異なる場合があります。

● PPP パスワード

コンピューターに接続するときのパスワードを入力します（例：1234ABCD）。

重要

・パスワードは、次のことに注意をして入力してください。
- 大文字小文字の違い。
- 数字の 0「ゼロ」と英字の O「オー」の違い。
- 数字の 1「イチ」と英字の I「アイ」、英字の l「エル」の違い。

・パスワードはとても大切なものです。他の人の目にふれないようにしっかり管理してください。

＜受信側が Windows の場合＞

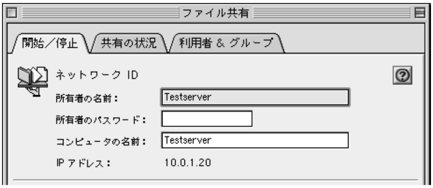
[マイコンピューター]-[ダイヤルアップネットワーク]-[接続]メニュー-[ダイヤルアップサーバー] - [パスワードの変更] で設定したパスワードを PPP パスワードに入力します。



補足 ・ここでは Windows98 の画面を使って説明しています。Windows のバージョンによっては、多少画面が異なる場合があります。

＜受信側が Macintosh の場合＞

アップルメニューから、[コントロールパネル] - [ファイル共有] - [開始/停止] タブを選択します。[所有者のパスワード] で設定したパスワードを PPP パスワードに入力します。



補足 ・ここでは MacOS9 の画面を使って説明しています。OS のバージョンによっては、多少画面が異なる場合があります。

●第 1 ネームサーバ
●第 2 ネームサーバ

空欄のままにしておきます。

● IP アドレス

カメラ自身の IP アドレスです。設定する必要はありません。

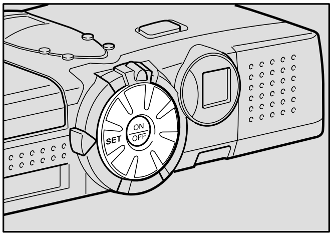
■ダイヤルアップ接続先を追加する

ダイヤルアップ接続先を追加する手順について説明します。

補足 ・設定はパソコンを使うとても便利です。→パソコンとの連携編「ダイヤルアップ接続先を設定する」

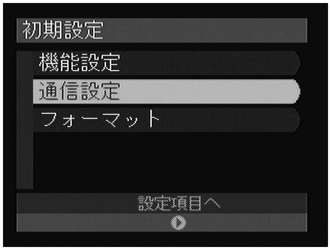
❶ **モードダイヤルを［SET］に合わせます。**

初期設定メニューが表示されます。



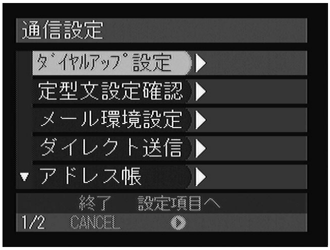
❷ **[通信設定] を選び、▶ボタンを押します。**

通信設定メニューが表示されます。



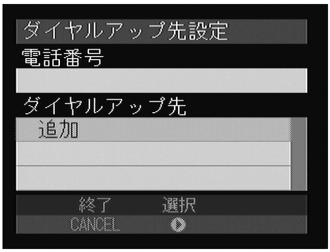
❸ **[ダイヤルアップ設定] を選び、▶ボタンを押します。**

ダイヤルアップ先設定の画面が表示されます。



❹ **[追加] を選び、▶ボタンを押します。**

ダイヤルアップ先環境設定の画面が表示されます。



❺ 各項目の設定を行います。

設定は9項目あります。

参照 ・P.25, 27「ダイヤルアップ接続先の設定内容」
・P.110「文字入力 / 削除のしかた」
カメラ編「項目の選択のしかた」





❻ 設定が終了したら、ENTERボタンを押します。

設定が完了し、ダイヤルアップ先設定の画面（手順❹）に追加したダイヤルアップ接続先が表示されます。



❼ CANCEL ボタンを押します。

通信設定メニューに戻ります。

❽ 再度、CANCEL ボタンを押します。

初期設定メニューに戻ります。

ダイヤルアップ接続先の設定を変更する

すでに登録してあるダイヤルアップ接続先の設定を変更します。

❶ ダイヤルアップ先設定の画面を表示します。



参照 ・P.30「ダイヤルアップ接続先を追加する、手順❶～❸」

❷ [ダイヤルアップ先] から変更したい設定を選んだ後、▶ボタンを押します。

選択したダイヤルアップの設定内容が表示されます。

補足 ・目的のダイヤルアップ接続先が表示されていない場合は、▲や▼ボタンを使って目的のダイヤルアップ接続先を表示します。

❸ 設定を変更します。

設定は９項目あります。



重要
・変更した設定は元に戻せません。設定の内容を十分に確認してから変更を行ってください。

❹ 設定が終了したら、ENTER ボタンを押します。

変更が完了し、ダイヤルアップ先設定の画面に戻ります。

❺ CANCEL ボタンを押します。

通信設定メニューに戻ります。

❻ 再度、CANCEL ボタンを押します。

初期設定メニューに戻ります。

ダイヤルアップ接続先を削除する

不要になったダイヤルアップ接続先を削除します。

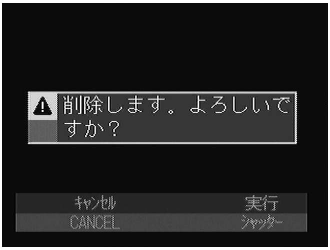


❶ ダイヤルアップの設定画面を表示します。

参照 ・P.30「ダイヤルアップ接続先を追加する、手順❶～❸」

❷ [ダイヤルアップ先] から削除したい設定を選んだ後、🗑ボタンを押します。

重要 ・削除した設定は元に戻せません。設定の内容を十分に確認してから削除を行ってください。



❸ シャッターボタンを押します。

選択したダイヤルアップの設定が削除されます。手順❷・❸を繰り返すと、続けて削除できます。

補足 ・[キャンセル] を選ぶと、削除を中止できます。

❹ 削除が終了したら、CANCEL ボタンを押します。

通信設定メニューに戻ります。

❺ 再度、CANCEL ボタンを押します。

初期設定メニューに戻ります。

メールを設定する

メールを送信したり、受信するときの条件を設定します。

補足 ・パソコンを使って、メール環境設定を登録したり、変更したりすることもできます。→パソコンとの連携編「メールを設定する」

メール環境を設定する

はじめにメールの環境を設定します。

重要 ・設定に使われる用語は、プロバイダーによって異なります。プロバイダー別の設定用語については、カメラに同梱の別紙「プロバイダー別設定項目一覧」をご覧ください。別紙に掲載されていないプロバイダーをご使用の場合や別紙とは設定用語が異なる場合は、下記のコラム「メールの設定で使われる用語について」をご覧ください。

コラム

メールの設定で使われる用語について

次の例を参考にして、プロバイダーから提供される情報を適切な項目に設定してください。

本製品の項目名	プロバイダーが使用している例
SMTP サーバ名	：送信メールサーバー、メールサーバー
POP サーバ名	：受信メールサーバー、メールサーバー
POP アカウント	：メールアカウント
POP パスワード	：メールパスワード
メールアドレス	：電子メールアドレス、E-Mail アドレス

■メール環境の設定内容

ここでは、次の 12 項目を設定します。
設定の手順については次の項で説明します。→ P.37

● SMTP サーバ名

送信用のメールサーバーで、送信したメールを一時的に保管します。プロバイダーやシステム管理者から提供されたサーバー名を入力します。
（例：smtp.testnet.ne.jp または xxx.xxx.xxx.xxx）

● POP サーバ名

受信用のメールサーバーで、受信したメールを保管します。プロバイダーやシステム管理者から提供されたサーバー名を入力します（例：pop.testnet.ne.jp または xxx.xxx.xxx.xxx）。

補足　・SMTP サーバーと POP サーバーが共通の場合もあります。

● POP アカウント

受信用のメールサーバーに接続するときのアカウント名です（例：testname）。ダイヤルアップ接続先設定の PPP アカウントと共通の場合もあります。

● POP パスワード

受信用のメールサーバーに接続するときのパスワードです（例：1234ABCD）。ダイヤルアップ接続先設定の PPP パスワードと共通の場合もあります。

重要
- アカウントやパスワードは、次のことに注意をして入力してください。
  - 大文字小文字の違い。
  - 数字の 0「ゼロ」と英字の O「オー」の違い。
  - 数字の 1「イチ」と英字の I「アイ」、英字の l「エル」の違い。
- パスワードはとても大切なものです。他の人の目にふれないようにしっかり管理してください。

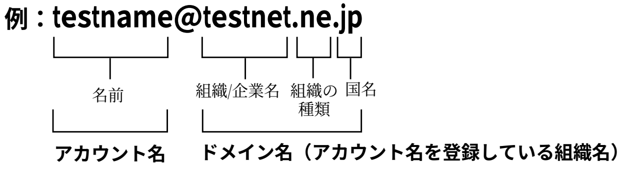
コラム

SMTP と POP について

SMTP（Simple Mail Transfer Protocol）は、メールの送信時に使われるプロトコル（通信の手順や約束ごと）です。POP（Post Office Protocol）は、自分宛のメールをメールサーバーから受け取るときに使われるプロトコルです。

●メールアドレス

電子メールを利用するときに、ひとりひとりを識別するために使う名前と住所に相当するものです。アドレスは@マーク（アットマーク）を挟んで、2つの部分に分かれます。



●発信者名

発信者つまり自分の名前です。送信したメールの送信者欄「From:」に自動的に記載されます（例：Taro Tanaka、パソコンで入力した例：田中太郎）。

補足　・パソコンを使って入力した場合は発信者名を自由に入力できますが、海外とメールのやり取りが多い場合は、英字で入力することをおすすめします。

●署名

署名は、送信者の情報（名前、メールアドレス、連絡先など）をまとめたものです。ここで入力した署名は、メール本文の最後に自動的につけ加えられます。必要がない場合は空欄のままにしておきます。

パソコンで入力した例：

```
------------------------
田中太郎
testname@testnet.ne.jp
------------------------
```

補足　・パソコンを使って入力した場合は、署名を自由に入力できます。

●受信メール自動削除

受信用のメールサーバーに保管されている自分宛のメールを、メールを受信した後で削除するかしないかを設定します。「する」または「しない」のいずれかを選びます。工場出荷時には「しない」に設定されています。

●メール最大サイズ

指定した数値より大きなサイズのメールを受信しないように設定します。▲・▼ボタンを使って、0〜300KBの範囲で1KB単位ごとに指定します。0に設定した場合、メールは受信されません。工場出荷時には「64KB」に設定されています。

補足　・大きなサイズのメールは、受信できないことがあります。

●送信メール保存

メールを送信した後、送信済みのメールを送信簿に保存するかしないかを設定します。「する」または「しない」のいずれか を選びます。工場出荷時には「する」に設定されています。

●メールボックスサイズ

メールはカメラの内蔵メモリーに保存されます。その内蔵メモリー内のメールボックスのサイズを設定します。▲・▼ボタンを使って、1〜6MBの範囲で1MB単位ごとに指定します。工場出荷時には「2MB」に設定されています。

補足
・内蔵メモリーは、メール用と画像ファイル保存用に使われています。ここでメールボックスサイズを大きくすると、画像ファイル用のサイズが小さくなります。
・最大値の6MBに設定した場合、メモリーのほとんどがメール用に使われるため、画像ファイルを内蔵メモリーに保存できないことがあります。

●ダイヤルアップ先

あらかじめ登録しておいた一覧の中から、メールを使う時に利用するダイヤルアップ接続先を選択します。

補足
・まだダイヤルアップ接続先が登録されていない場合は、登録を先に行ってください。→P.24「ダイヤルアップ接続先を設定する」

■設定する

メール環境を設定する手順について説明します。

補足
・設定はパソコンを使うととても便利です。→パソコンとの連携編「メールを設定する」

❶ モードダイヤルを［SET］に合わせます。

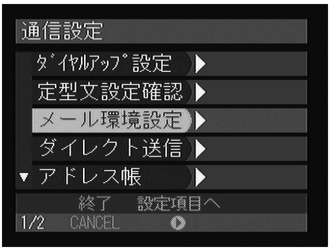
初期設定メニューが表示されます。

❷［通信設定］を選び、▶ボタンを押します。

通信設定メニューが表示されます。

❸［メール環境設定］を選び、▶ボタンを押します。

メール環境設定の画面が表示されます。



❹ 各項目の設定を行います。

設定は 12 項目あります。

参照 ・P.34「メール環境の設定内容」
・P.110「文字入力 / 削除のしかた」
カメラ編「項目の選択のしかた」







❺ ダイヤルアップ先を設定するときは、[ダイヤルアップ先] を選び ▶ ボタンを押します。

・ダイヤルアップ接続先を設定する→ P.39



❻ 設定が終了したら、ENTER ボタンを押します。

通信設定メニューに戻ります。

❼ CANCEL ボタンを押します。

初期設定メニューに戻ります。

■ダイヤルアップ接続先を設定する

メールを使うときのダイヤルアップ接続先を設定します。

❶［ダイヤルアップ先］を選び、▶ボタンを押します。

ダイヤルアップの設定画面が表示されます。



❷ ▲や▼ ボタンを使って、設定したいダイヤルアップ接続先を選びます。

［電話番号］にダイヤルアップ接続先の電話番号が表示されます。



補足 ・まだダイヤルアップ接続先が登録されていない場合は、登録を先に行ってください。→P.24「ダイヤルアップ接続先を設定する」

❸ ENTER ボタンを押します。

設定画面（手順❶）に戻ります。

アドレス帳を設定する

仕事の関係者や知人の情報をアドレス帳に登録しておくことができます。ここで登録したメールアドレスを、メールを送信するときの「宛先」に指定することができます。

補足 ・アドレス帳には最大50件のアドレスデータを登録することができます。

アドレス帳を設定する

■アドレス帳の設定内容

アドレス帳には次の5項目を入力します。

●氏名

登録する人の名前を入力します。

●ふりがな（必須項目）

登録する人の名前をひらがなで入力します。必ず入力してください。

●アドレス

メールアドレスを入力します。ここで入力したメールアドレスは、メール送信時の「宛先」に指定できます。→P.45「クイック送信を設定する」
→P.73「メールに添付して送信する」→P.82「メールを作成する」

重要 ・メールアドレスは、大文字、小文字を区別して正確に入力してください。

●電話番号

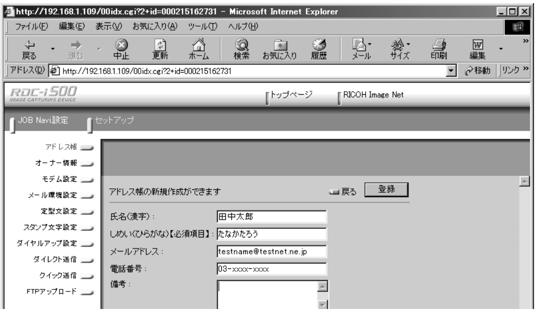
電話番号を入力します。「-」を入れても入れなくてもどちらでも入力が可能です。（例：xx-xxxx-xxxx または xxxxxxxxxxx）

●備考

備考を入力します。

■アドレスを設定する

新しいアドレスを追加したり、すでに登録してあるアドレスを変更したり、削除したりするときは、パソコンで設定します。詳しい手順については、パソコンとの連携編「アドレス帳を設定する」をご覧ください。



アドレス帳を確認する

カメラに登録されているアドレス帳を確認します。

❶ **モードダイヤルを［SET］に合わせます。**

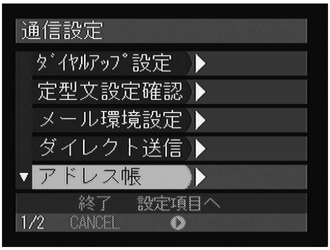
初期設定メニューが表示されます。

❷ **［通信設定］を選び、▶ボタンを押します。**

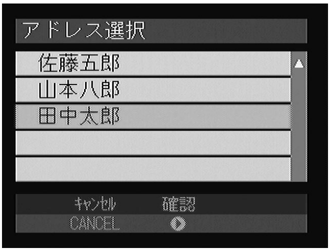
通信設定メニューが表示されます。

❸ **［アドレス帳］を選び、▶ボタンを押します。**

アドレス選択の画面が表示されます。



❹ **▲や▼ボタンを使って、確認したいアドレスを選び、▶ボタンを押します。**



❺ **アドレス内容を確認します。**

設定は5項目あります。



参照 ・P.40「アドレス帳の設定内容」

❻ **確認が終了したら、ENTERボタンを押します。**



❼ **CANCELボタンを押します。**

通信設定メニューに戻ります。

❽ **再度、CANCELボタンを押します。**

初期設定メニューに戻ります。

定型文を設定する

よく使う文章を定型文として登録しておくことができます。ここで登録した定型文を、メールのタイトルや本文に指定することができます。

補足　・最大30件の定型文を登録することができます。

定型文を設定する

新しい定型文を登録したり、すでに登録してある定型文を変更したり、削除したりするときは、パソコンで設定します。詳しい手順については、パソコンとの連携編「定型文を設定する」をご覧ください。



定型文を確認する

カメラに登録されている定型文を確認します。

❶ モードダイヤルを［SET］に合わせます。

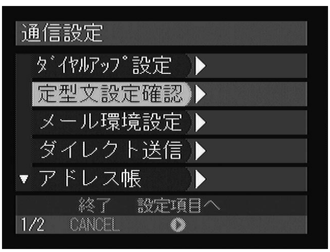
初期設定メニューが表示されます。

❷［通信設定］を選び、▶ボタンを押します。

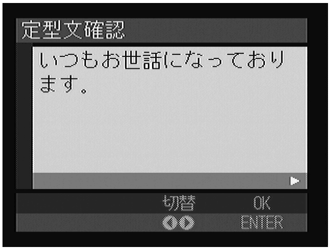
通信設定メニューが表示されます。

❸［定型文設定確認］を選び、▶ボタンを押します。

定型文が表示されます。



❹ ◀や▶ ボタンを使って、確認したい定型文を選びます。



❺ 確認が終了したら、ENTER ボタンを押します。

❻ CANCEL ボタンを押します。

初期設定メニューに戻ります。

クイック送信を設定する

クイック送信とは、再生モードから画像送信の操作にすぐに移行し、手軽に画像を送信できる便利な機能です。指定した1枚の画像を常に同じ送信先に送るときに使います。この機能を使うには、あらかじめ送信先やダイヤルアップ接続先（電話をかける先）などの設定などをしておく必要があります。

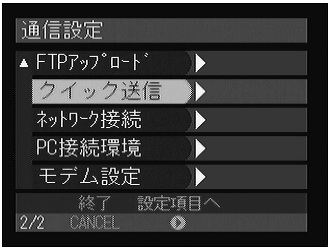
参照 ・P.24「ダイヤルアップ接続先を設定する」、P.34「メールを設定する」、P.40「アドレス帳を設定する」

設定する

クイック送信は電子メール機能を利用して、画像を送信先に送ります。ここでは、そのメールの送信先とダイヤルアップ接続先、送信する画像のサイズを設定します。

❶ モードダイヤルを［SET］に合わせます。
初期設定メニューが表示されます。

❷［通信設定］を選び、▶ボタンを押します。
通信設定メニューが表示されます。



❸［クイック送信］を選び、▶ボタンを押します。
クイック送信先設定の画面が表示されます。

❹ クイック送信の設定を行います。
詳しい設定方法については、後の項で説明します。



・アドレス帳を使って宛先を選択する→ P.46
・ダイヤルアップ接続先を選択する→ P.46
・画像サイズを設定する→ P.47

❺ 設定が終了したら、ENTER ボタンを押します。
通信設定メニューに戻ります。

❻ CANCEL ボタンを押します。
初期設定メニューに戻ります。

■アドレス帳を使って宛先を選択する

アドレス帳から宛先を選択します。

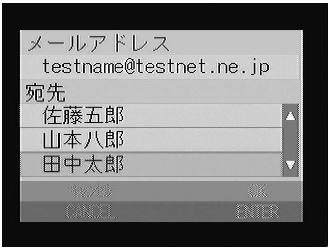
❶ **設定画面で［宛先］を選び、▶ボタンを押します。**

宛先の一覧が表示されます。



❷ **［宛先］から設定したいアドレスを選びます。**

［メールアドレス］に選択したアドレスの内容が表示されます。



補足 ・まだ宛先が登録されていない場合は、登録を先に行ってください。
→P.40「アドレス帳を設定する」

❸ **ENTER ボタンを押します。**

選択した宛先が設定画面（手順❶）に表示されます。

■ダイヤルアップ接続先を選択する

ダイヤルアップ接続先を選択します。

❶ **設定画面で［ダイヤルアップ先］を選び、▶ボタンを押します。**

ダイヤルアップの設定画面が表示されます。



❷ **［ダイヤルアップ先］から設定したいダイヤルアップ接続先を選びます。**

［電話番号］に選択したダイヤルアップ接続先の内容が表示されます。



❸ ENTER ボタンを押します。

選択したダイヤルアップ先が設定画面（手順❶）に表示されます。

補足 ・まだダイヤルアップ接続先が登録されていない場合は、登録を先に行ってください。→ P.24「ダイヤルアップ接続先を設定する」

■画像サイズを設定する

送信する画像のサイズを設定します。画質を優先するか、時間を優先するかにより、適切なサイズを選びます。

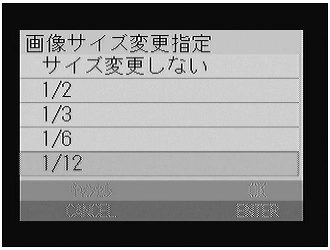
❶ 設定画面で［画像サイズ変更］を選び、▶ボタンを押します。

画像サイズの設定画面が表示されます。



❷ 設定したい画像サイズを選んだ後、ENTER ボタンを押します。

設定が完了し、設定画面に選択した画像サイズが表示されます。

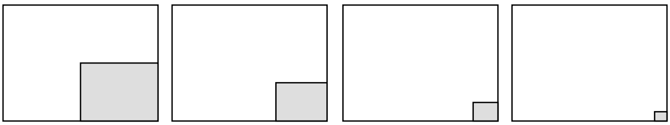


●サイズ変更しない

オリジナルの画像がそのまま送信されます。
画質を優先して送信するときに選択します。

● 1/2、1/3、1/6、1/12

オリジナルの画像が 1/2 ～ 1/12 に縮小されたサイズで送信されます。
画質より送信するときの時間を優先するときに選択します。画像サイズが小さくなるほど送信時の時間が短くなります。



1/2　1/3　1/6　1/12

補足 ・撮影した画像はファイルサイズが大きいため、送信に時間がかかります。送信時間を短くするためにも画像サイズを小さくすることをおすすめします。工場出荷時には「1/6」に設定されています。
・ここでの設定は、送信する画像サイズを変更するだけで、カメラに記録されているオリジナルの画像サイズを変更するわけではありません。

●画像サイズ

画像サイズを変更した後の画素数については、下の表を参考にしてください。

設定値	画像サイズ（画素数）		
	2048	1024	640
サイズ変更をしない	2048×1536	1024×768	640×480
1/2	1024×768	512×384	320×240
1/3	672×512	320×256	192×160
1/6	320×256	160×128	96×80
1/12	160×128	64×64	64×40

補足 ・画像サイズは、再生モードの画面で確認することができます。



画像サイズ

ダイレクト送信を設定する

オフィスにあるコンピューター（サーバー）に電話をかけて、サーバー内のフォルダーにカメラから直接ファイルを送信することをダイレクト送信といいます。ここでは､ダイレクト送信のときに利用するダイヤルアップ接続先や送信先のサーバー名などを設定します。

補足 ・実際には、サーバーに接続されたモデムに電話をかけます。

ダイレクト送信を設定する

■ダイレクト送信の設定内容

ここでは、次の3項目を設定します。

●ダイヤルアップ先

あらかじめ登録しておいた一覧の中から､実際にダイレクト送信で利用するダイヤルアップ接続先を選択します。

補足 ・まだダイヤルアップ接続先が登録されていない場合は､登録を先に行ってください。→P.27「ダイヤルアップ接続先を設定する（ダイレクト送信の場合）」

●転送先サーバ

ファイルを送信する先のサーバー（受信側のコンピューターのこと）です（例：ftp.testnet.ne.jp または xxx.xxx.xxx.xxx）。通常は空欄のままにしておきます。

●転送先フォルダ

ファイルを送信するサーバー内のフォルダーを指定します｡通常は空欄のままにしておきます。

＜ Windows の場合＞

フォルダーを指定した場合､受信側のコンピューターとカメラ側の指定により、送信時の動作は次のようになります。

（例：c:/xxxx/xxxx、c:\xxxx\xxxx）

受信側		カメラ側		送信結果
指定あり	指定なし	指定あり	指定なし	
●	—	—	●	コンピューター側が指定したフォルダーにファイルが送信されます。※1
●	—	●	—	カメラ側の指定は無視され、コンピューター側が指定したフォルダーにファイルが送信されます。※1
—	●	●	—	カメラ側が指定したフォルダーにファイルが送信されます。※2
—	●	—	●	カメラにエラーメッセージが表示され、ファイルの送信はできません。

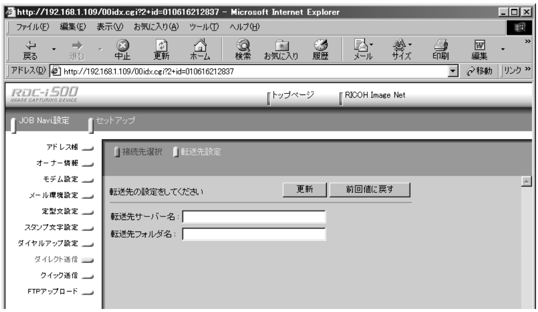
※1 指定したフォルダーが存在しない場合、コンピューター内に自動的にフォルダーが作成されます。
※2 指定したフォルダーが存在しない場合、カメラにエラーメッセージが表示され、ファイルの送信はできません。

重要
・フォルダーの指定は間違えないように正確に入力してください。入力を間違えると受信側に指定したフォルダーが存在しないことになり、送信エラーが発生します。

＜ Macintosh の場合＞
空欄のままにしておきます。ファイルは、受信側のコンピューターで指定したフォルダーに送信されます。

■設定する

新しくダイレクト送信先を設定したり、すでに登録してある設定を変更したり、削除したりするときは、パソコンで設定します。詳しい手順については、パソコンとの連携編「ダイレクト送信を設定する」をご覧ください。



ダイレクト送信の設定を確認する

カメラに登録されているダイレクト送信の設定を確認します。

❶ **モードダイヤルを［SET］に合わせます。**

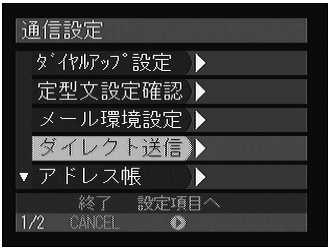
初期設定メニューが表示されます。

❷ **［通信設定］を選び、▶ボタンを押します。**

通信設定メニューが表示されます。

❸ **［ダイレクト送信］を選び、▶ボタンを押します。**

ダイレクト送信先設定の画面が表示されます。



❹ **各項目の設定を確認します。**

参照 ・P.49「ダイレクト送信の設定内容」



❺ **ダイヤルアップ先を変更するときは、［ダイヤルアップ先］を選び ▶ ボタンを押します。**

ダイヤルアップ先が表示されます。変更が終了したら、ENTER ボタンを押します。

参照 ・P.46「ダイヤルアップ接続先を選択する」



❻ **確認が終了したら、ENTERボタンを押します。**

通信設定メニューに戻ります。

❼ **CANCEL ボタンを押します。**

初期設定メニューに戻ります。

FTP アップロードを設定する

画像を埋め込んだ HTML ファイルとオリジナルの画像を、ホームページのあるサーバーにアップロード（送信）することができます。ここでは、アップロードをするときに利用するダイヤルアップ接続先や送信先のサーバー名などを設定します。

FTP アップロードを設定する

■ FTP アップロードの設定内容

ここでは、次の 6 項目を設定します。

● FTP サーバーアドレス

ファイルを送信する先のサーバーを指定します（例：ftp.testnet.ne.jp または xxx.xxx.xxx.xxx）。

●転送先フォルダ

ファイルを送信するサーバー内のフォルダーを指定します（例：/xxxx/xxxx）。

重要

・フォルダーの指定は間違えないように正確に入力してください。入力を間違えると受信側に指定したフォルダーが存在しないことになり、送信エラーが発生します。

●ユーザーアカウント名

FTPアップロードの送信先となるFTPサーバーに接続するときに使うユーザーアカウント名です。ユーザーID、ホームページアカウントなどとよぶこともあります。ダイヤルアップ接続先設定の PPP アカウントと共通の場合もあります（例：testname）。

●パスワード

サーバーに接続するときに使うパスワードです。ダイヤルアップ接続先設定の PPP パスワードと共通の場合もあります（例：1234ABCD）。

●ダイヤルアップ先

あらかじめ登録しておいた一覧の中から、実際にFTPアップロードで利用するダイヤルアップ接続先を選択します。

●ホームページ URL

アップロード先のホームページの URL を指定します。ここで指定した URL は、ファイルのアップロード後に作成されるメールの本文に記録されます。
（例：http://www.testnet.ne.jp/~testname/ ）

参照 ・P.104「HTML ファイルをアップロードする / 補足」

コラム

FTP について

FTP（File Transfer Protocol）は、インターネットでファイルを転送するときに使われるプロトコルです。

URL について

URL（ユーアールエル）は Uniform Resource Locator の略で、ホームページの所在を示す住所のようなものです。

例：http://www.testname.ne.jp/~testname/

サブドメイン名　ドメイン名　ユーザーアカウント名

「www.」はない場合もあります。
「~」はチルダといいます。全角の「～」とは別の記号です。

■設定する

新しく FTP アップロードの設定をしたり、すでに登録してある設定を変更したり、削除したりするときは、パソコンで設定します。詳しい手順については、パソコンとの連携編「FTP アップロードを設定する」をご覧ください。



FTP アップロードの設定を確認する

カメラに登録されている FTP アップロードの設定を確認します。

❶ モードダイヤルを［SET］に合わせます。

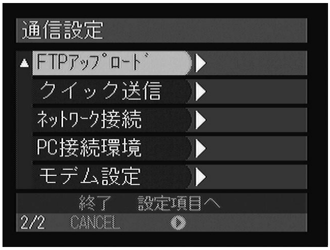
初期設定メニューが表示されます。

❷ [通信設定] を選び、▶ボタンを押します。

通信設定メニューが表示されます。

❸ [FTP アップロード] を選び、▶ボタンを押します。

FTP アップロード先設定の画面が表示されます。



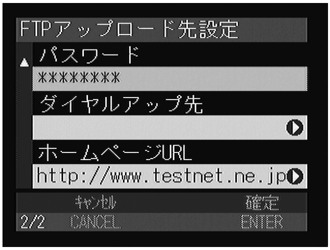
❹ 各項目の設定を確認します。

設定は 6 項目あります。



参照 ・P.52「FTP アップロードの設定内容」

❺ ダイヤルアップ先を変更するときは、[ダイヤルアップ設定] を選び▶ボタンを押します。



ダイヤルアップ先が表示されます。変更が終了したら、ENTER ボタンを押します。



参照 ・P.46「ダイヤルアップ接続先を選択する」

❻ 確認が終了したら、ENTERボタンを押します。

通信設定メニューに戻ります。

❼ CANCEL ボタンを押します。

初期設定メニューに戻ります。